

行財政改革実施計画・行動計画票

No.	27	[平成18年5月9日提出]			
基本方針	歳出削減に向けた主要な取り組み	担当課名	交通対策室		
重点項目	他会計繰出金の抑制				
取組項目	交通事業の運行体系、料金形態の見直し				
経過・現状 (H17.4.1現在)	若松地区のバス、旅客船の運行形態については、道路改良にあわせて、随時見直しを行っている。料金の改定については、平成9年度に行ったままである。バスの利用者については、高校生の利用が減少している。				
行 動 概 要	目標	交通事業の運行体系、料金形態の見直し (目標年次) 平成19年度			
	期待される効果	料金の見直し(10.0%)、使用バスの小型化・旅客船運行からバス運行へ。料金の見直しによる収入増、バス1,000千円・旅客船で300千円の増収となる。使用バスの一部小型化により、維持費・燃費の削減。郷ノ首航路の一部抜港による大幅な経費削減について検討。			
	必要性・問題点	地域住民の理解(郷ノ瀬航路のバスへの切り替えは慎重な対応が必要)。宿の浦～大浦間の小型バスの運行(1.8K)。職員の身分保障(抜港の場合は対応可能)。			
	対象	バス、旅客船の利用者(町民)			
	手段	年度	実施内容・予定時期	効果額合計(3,900 千円)	
	17年度 (実績)	運賃見直し、バスの小型化について検討。		目標数値	
			効果		歳入(千円) 歳出(千円)
	18年度	バスの小型化、所有台数の減(2台)実施 料金の見直しの検討 郷ノ首航路一部抜港の検討		目標数値	
			効果		歳入(千円) 歳出(千円)
	19年度	料金の見直し 郷ノ首航路一部抜港の検討		目標数値	料金改定(10.0%)
		効果		歳入(1,300 千円) 歳出(千円)	
20年度	郷ノ首航路一部抜港の検討		目標数値		
		効果		歳入(1,300 千円) 歳出(千円)	
21年度	郷ノ首航路一部抜港の検討		目標数値		
		効果		歳入(1,300 千円) 歳出(千円)	
関係例規等	名称	新上五島町営交通船運送条例施行規則		改正時期	H18